



No.315

今井公民館
館報編集委員会
電話 59-2001
FAX 59-1004

昭和の大合併から60年 当時の今井は

昭和29年8月1日松本市と合併し昨年で60年を迎えました。当時の様子地区誌や公民館報を手掛かりに思い起こしてみました。

合併のようこび

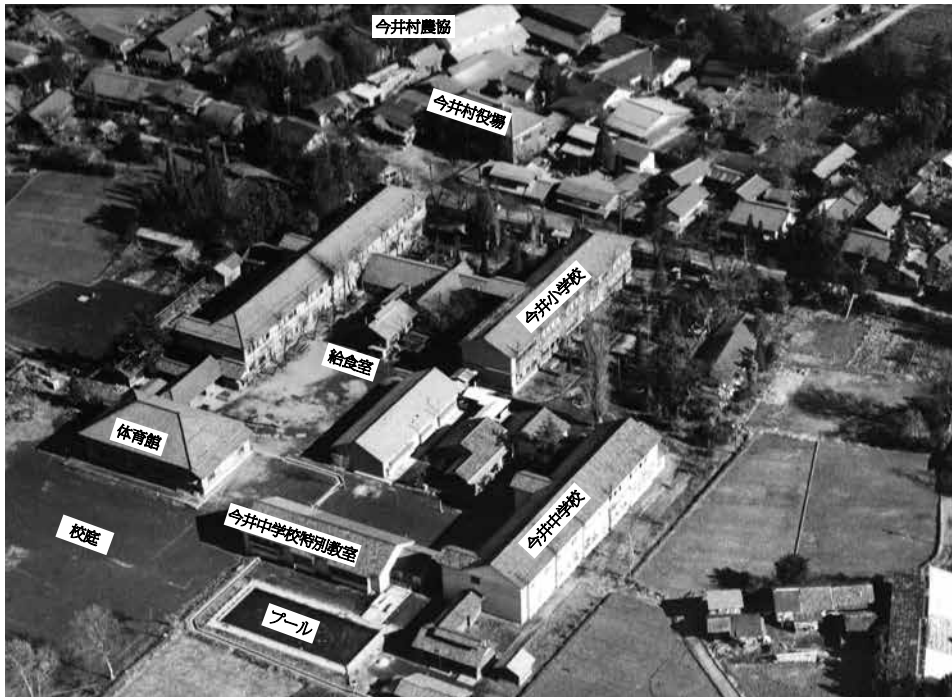
理想の田園都市はこれからだ
八月一日、いよいよ今日から東筑摩郡今井村も町村合併によって大松本市の一員として発足するのだ。村民一同大きな期待と緊張をもって待つうちに松岡市長一行が到着された。小宴の後、支所の門札の掲げ替えが行われた。

長年の伝統を誇る今井村役場の門札が下ろされ、木の香も新しい松本市役所今井支所の門札が掲げられた。

(昭和29年館報9月号より)



門札の掛け替え



今井小学校所蔵写真より



旧今井村役場

合併当日は、折から祝賀飛行の飛行機が北の空より現れ、二、三回支所の上空を旋回して市長のメッセージや花束を投下してまた飛び去った。

飛行機から流れ出た広告のビラが青空をひらひらときらめきながら散り落ちてくるのは真に美しい。子供も大人もそのビラを追ってあちらこちらへと走り廻って、騒ぎをするのも、まことに祝賀気分であらわれたほくえましい光景であった。(昭和29年館報9月号)

今井中学校新築

- ・総工費 980万円
- ・村民一同、6日間勤労奉仕で整地作業
- ・昭和28年8月着工同年11月3ヶ月にて竣工
- ・昭和42年鉢盛中へ実質統合
- ・昭和29年より同42年の間の短期間の使用でした。
- ・使用期間としての13年間、日本でも最短ではないでしょうか？

当時と比べると、人口は微増ですが、まともと空港や、アルプスグリーン道路、今井道の駅など大型事業の完成により、大きく変貌を遂げています。

これから50年、60年後の今井はどうなっているのでしょうか。

北風南風

今年も新しい年を健康で迎えられたことに感謝し、また1年元気で生活できるよう体調管理に気を付けようと思う。あんまり自慢出来る健康方法もないが▼若いうちから、遠視になり、老眼鏡なしでは仕事に支障をきたすほどだった。父が60代の頃、玄米もどきのご飯で遠視が治ったのを思い出し、発芽玄米を食べ始めた。数年で遠視が治り、今では新聞もメガネなしで読めるようになった。おまけに、食物繊維が豊富なので便秘知らずになり、まさに一石二鳥▼年齢とともに、病になる危険度が増すこの頃、免疫力アップのため、手ミミ運動をしている。それは、爪の生え際を10秒ほど、少し痛いぐらい押すと、自律神経が調整され交感・副交感神経のバランスが良くなるそうで、何年か続いている▼。呼吸は万病のもと、寝起きの時いつも喉がからからで、痰がらみで気持ち悪かった。妻が「枕を外してみたら」の一言で、バスタオルを敷いて寝てみたら、翌朝、口内がスッキリ。鼻呼吸で寝ているようで快適▼勿論個人差があり、全ての人に適用はできないと思う。

(A.N)

一足早いホワイトクリスマス

前々日の雪がまだ残る12月6日(土)、図書視聴覚委員会主催で恒例のクリスマス会が開かれました。冷え込みの厳しい中、心配された参加者も48人集まってくれました。

第一部は人形劇団やまんばによる「フーちゃんのマジックショー」と「胴長のプレッツェル」。演目の準備を待っている間には指遊びをするなどして、場を和ませてくれました。マジックが成功すると歓声や拍手で盛り上がりました。劇の中の人形にみんなまで声をかけたり、会場が一体になった演目でした。



人形劇を鑑賞する子どもたち

第二部は場所を変え、お楽しみケーキづくり。スライスしたロールケーキの上に、生クリームやフルーツ、チョコレートなどで思い思いにデコレーションして、美味しくいただきました。

子ども会育成会 正月餅つき&カルタ大会

新春の1月4日(日)、晴れ晴れとしたなか18名の子どもたち、高齢者クラブや育成会協力員の皆さんも合わせ30名が公民館に集まりました。

はじめに「今井ふるさと歌留多大会」を、大人も交じって4つのグループに分かれて行いました。大人や、K I Y A I D E リーダーの中学生が読み手をし、子どもたちがわれ先にとカルタを取り合い、大人はひとつも取れません。高齢者クラブの皆さんも驚いていました。

その間に餅米がふかし上がり、いよいよ餅つき。みんな順番で「よいしょ!よいしょ!」の掛け声で元気におもちをつきました。つき上がったお餅を、きな粉餅やお雑煮にして、おいしくいただき、正月の楽しいひと時を満喫していました。



餅つきの様子

認知症予防講座

1月10日(土)今井地区健康講座が今井公民館など5団体の共催で開催され、30名と多くの方が参加しました。

5回に分けて、市役所健康づくり課の保健師、理学療法士が講師を務めて、認知症について「知る・予防法・手助け」の方法を学びます。

現在、65歳以上で462万人がアルツハイマー型・脳血管症・レビー小体型など認知症の症状が出ているそう、今後も爆発的に増える予測されています。

今回の講座では、基礎知識として、認知症と老化現象の違いを、また、運動による予防効果策として、二重課題ト



No.255

「感謝」

高橋 司
(上新田)

私は、昨年度まで塩尻志学館高校で学生生活を送っていました。3年間を部活(野球部)に費やす日々でした。休みという休みはなく、年末年始も部活でアルバイトを行っていました。練習は辛く、学校生活でも担任が部活の監督をしている

レーニン グ法(歩きながら引き算をするなど)や、瞬発力訓練法の実践をしました。



瞬発力訓練法

今井地区 60 年の人口比較

(昭和29年当時と平成26年度)

世帯数	昭和29年当時	741戸
	平成27年1月1日現在	1,534戸
人口	昭和29年当時	3,831人
	平成27年1月1日現在	4,044人
男性	昭和29年当時	1,891人
	平成27年1月1日現在	1,950人
女性	昭和29年当時	1,940人
	平成27年1月1日現在	2,094人

今井地区 60 年の小中学校の児童生徒数比較

(昭和29年当時と平成26年度)

今井小学校児童数	昭和29年当時	546名
	平成26年度	167名
今井中学校生徒数	昭和29年当時	236名
	平成26年度	110名
鉢盛中学校生徒数(今井地区)		
		110名

今回は、昭和29年合併の特集記事となり、世帯数や人口は当時と現在の比較を掲載します。

人だったために、気を抜く暇もありませんでした。

今思うと、学生の時には、家にいる時間よりも学校にいる時間の方がとても長かったと思います。



監督は、と

だったのですが、仲間同士で励まし合い楽しみなから乗り越えました。そんな部活動が私にとって一番の思い出です。また監督は、社会人にな

るために必要な礼儀を教えてくださいました。おかげで私は今、塩尻市役所という素晴らしい職場に勤めることができていると強く思っています。

私はこれから40年以上の長い期間、塩尻市役所で勤めていくことになります。時には辛いこともありますが高校生活で培ったことを糧にして、日々精進していきたいと思っています。また、お世話になった数多くの方に対して感謝の意を持って勤めていきたいです。